

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 河川管理運営事業

- ・河川の良好な環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,551	5,551	3,653		1,898

主な支出内訳

・河川管理運営事業

道路・河川維持管理協力団体報償費

280

滑川除草等委託料

1,096

滑川施設補修等委託料

1,029

浸水対策排水施設用地土地賃借料

1,229

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門		都整-09 河川管理運営事業				
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	335	河川整備・維持管理事業				
主管課	道水路管理課		関連課	河川課			
分野名	安全で快適な生活が送れるまち						
目標 (目標値)	市民参加型で、より地域に則した整備と管理						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	3,653千円	1,496千円	1,487千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	3,653千円	1,496千円	1,487千円			
	人員配置数	0.4人	0.5人	0.5人			
	人 件 費	3,608千円	4,592千円	4,702千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	7,261千円	6,088千円	6,189千円			
	市民1人当 りの経費	41円	35円	35円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
実施団体	△	目標値					
		実績値	4団体	5団体			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 鎌倉市道路・河川維持管理協力団体が平成20年度から1団体増えたが、各団体の活動内容に差がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 作業内容及び報告書等の提出物の作成について指導した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 協力団体である4団体は、団体発足から10年以上経過しており、構成員の高齢化や会員の確保等、活動に苦慮しているものがある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 団体が抱えている課題・問題点があれば、面談し、その解決を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	当面は現状のまま維持しつつ、協力団体のあり方について見直す。				
担当課長氏名:	道水路管理課長 稲葉 一男				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	当面は現状のまま維持しつつ、協力団体のあり方について見直す。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		